



皆様とともに50年  
Since 1972

—記者発表資料—

令和5年2月17日  
日本下水道事業団

## 遠隔臨場を一層推進 ～本格実施に向け実施要領（案）策定へ～

令和4年度に「建設DX推進重点プロジェクト」を決定し、積極的に建設現場の遠隔臨場に取り組むとともに、試行結果を評価したうえで、今年度中に実施要領を制定するなどJSの遠隔臨場の取組について、広く周知を行ってまいります。

日本下水道事業団（JS）では、建設DXの推進に取り組むため、建設現場における遠隔臨場については、「建設現場の遠隔臨場に関する試行要領（案）」に基づき、令和3年度に一部の工事で試行を行いました。

試行した工事において評価を行った結果、受注者及びJSの双方に現場までの移動時間や立会等の待ち時間の短縮等工程管理に関する効果が見られた一方で、通信環境等の課題も確認できました。

このような状況を踏まえ、令和4年度は、「建設DX推進重点プロジェクト」を選定し、遠隔臨場の試行対象を拡大するとともに、新たなツール等を活用し、上記課題への対応や品質の向上等施工管理の高度化を目指した取り組みを行っているところです。具体的な取り組みとしては、少ない費用で地下部等の通信環境を改善するための技術検証や工事写真の記録形式を拡大する運用とする等遠隔臨場のしやすい環境整備を進めています。

また、遠隔臨場等建設DXの推進を図るために、それらの実施が認められる工事は、工事成績評定の加点を行うこととしています。

JSは、これまでの試行結果を踏まえ、「建設現場の遠隔臨場に関する実施要領（案）」を今年度中に策定し、来年度以降本格実施していく予定です。

（別紙 遠隔臨場の概要など）

<問い合わせ先> 日本下水道事業団  
DX 戦略部建設DX 課長 山本哲雄  
TEL : 03-6361-7837  
FAX : 03-5805-1828  
E-mail : yamamotot@jswa.go.jp



(別紙)

## ■ R3年度試行の評価結果を踏まえたR4対応状況

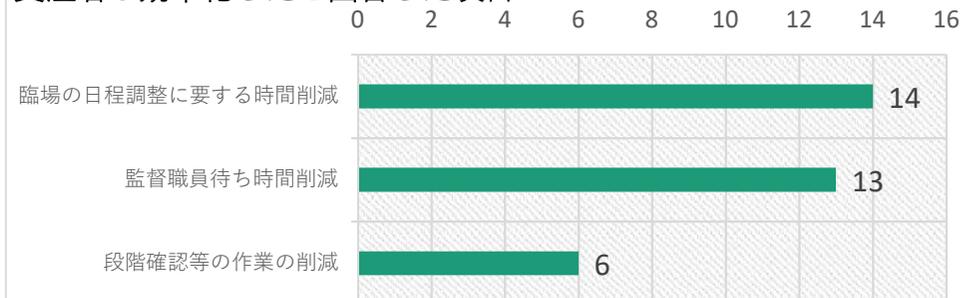
### <アンケート結果>

- ・受注者や監督職員の立会調整や立会待ち時間削減に有効
- ・使用機器、ソフトは、スマホやzoom等が多い
- ・最初は、デバイス機器等の操作や施工計画書の作成に時間を要した
- ・現場条件によっては、音声が届かなかったり、映像が不鮮明になる場合があった

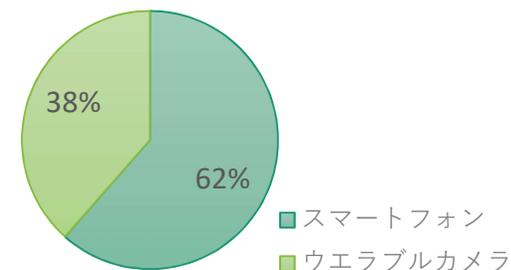
### <R4対応状況>

- ・実施要領(案)には、施工計画書作成例や遠隔臨場の手順がわかる資料を追加
- ・通信環境の悪い箇所の改善方を継続して検証中

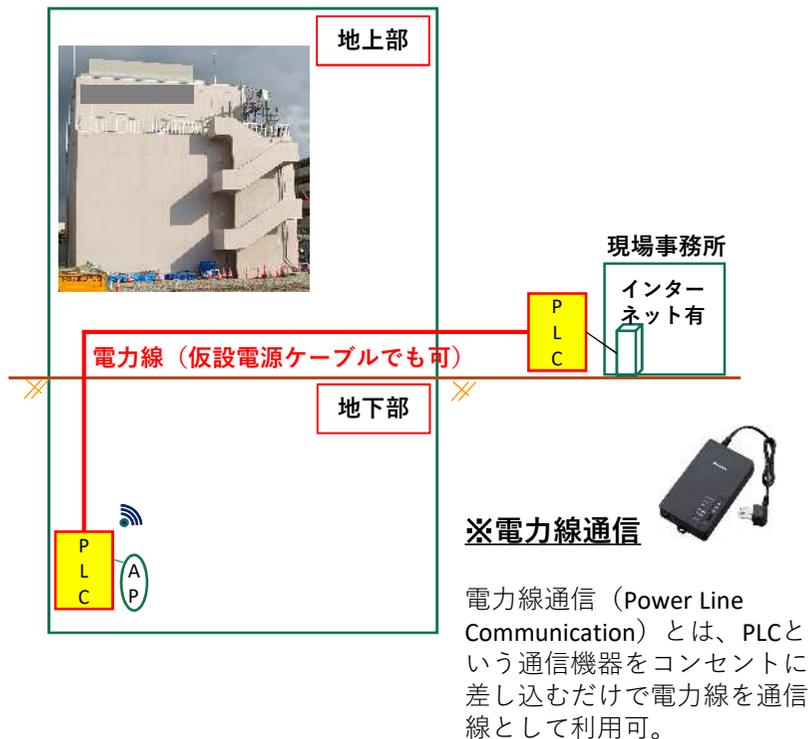
### 受注者が効率化したと回答した項目 (件)



### 遠隔臨場に使用した端末



### 通信環境が悪い箇所での改善方策 (検証中の例)



### 工事写真の形式を緩和 (例：配筋検査)

工事写真に電子黒板情報や鉄筋位置情報を重ね合わせて保存することが可能  
受注者は、鉄筋にマーカーの設置が不要になるなど労力が大幅に軽減

